

小規模森林における 環境共生型森林保全の基盤づくり

ひろげる助成

3年目

実践

植樹活動の参加者 **920人**

荒廃森林に対する
広葉樹 **5,936本**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **90%**



ナショナルトラスト普及啓発植樹活動の様子

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

普及啓発の植樹活動では、準備から当日の運営までの森林ボランティアや協力者の確保、調整が難しかった。

■ 工夫した点

森林の多様な価値の活用を図るため、自団体だけでなく、異分野の団体にアプローチし、活用につなげた。

課題

これまで再生・保全活動に取り組んできた荒廃森林を豊かな状態で維持しつつ、持続可能な形で未来へ引き継ぐこと。

目標

掛川市倉真地域の小規模区画民有林を社会全体が参加するナショナルトラスト運動をモデルに保全し、その森林・里山の恵みを活かした暮らし方を広げる。

活動内容と成果

1. 森の恵みを多角的に商品化する環境共生型ソーシャルビジネスの確立として①荒廃民有林の間伐、植樹等の活動 ②商品化した森の恵み石けんの販売 ③間伐材を活用した「生ごみ処理容器300台普及」、「内装材1件販売」④ナショナルトラスト普及啓発植樹活動開催 ⑤保水力計測機器設置2か所、雨量計1か所設置
2. 森林保全のための普及啓発活動として ①森のようちえん延べ635人参加 ②森づくり安全技術講習2回実施11人参加 ③エコツアーリズム4回31人参加 ④地元中学校の環境学習のべ345人参加



森林を育ちの場とする「森のようちえん」



保水力計測設備設置後、データ収集

全助成期間の活動を振り返って

社会全体で参加する森づくりを実現するためには、いかにそれぞれが自分事として受け止められる情報を具体的に示せるかということがポイントであると感じた。その中で、森林保全活動のエビデンスの一つとして、間伐前後の保水力の調査設備を設置し、データ収集の基盤が整った事や個人の所有者へナショナルトラスト的保全の理解を求めため、公有林でそのモデルを実現する準備が整ったことは、今後の活動の基盤になった。

| 活動地域 | 静岡県

〒436-0341 静岡県掛川市倉真7021

電話：0537-28-0082

E-mail：info@tokinosunomori.com

http://tokinosunomori.com



今後の
展望

ナショナルトラスト的保全モデル対象地の保管理する仕組みを構築するとともに、社会全体の共有の財産として森林・里山を「分かち合う」(シェア)する活動を推進することにより、生物多様性をはじめとする森林の持つ公益的機能を発揮させ、将来にわたり豊かな森林が維持されることを目指したい。